

ジオパークで
地域に活力を!!

ジオパーク推進だより

下仁田町自然史館(ジオパーク推進室)
下仁田町大字青倉158-1
☎70-3070 FAX67-5315
<http://www.shimonita-geopark.jp/>



記念講演会

～下仁田ジオパーク一周年記念
特別講演会開催～

「日本のジオパークと下仁田の魅力」

講師：小泉 武栄 先生
(日本ジオパーク委員会・東京学芸大学教授)



9月2日(日)下仁田ジオパーク認定1周年を記念し、講師に下仁田ジオパークの現地審査にも携わった小泉武栄先生をお招きし講演会を開催しました。

講演内容は、①ジオパークって何?②日本国内のジオパークにおける取組みの紹介③下仁田ジオパークの魅力④下仁田が世界ジオパークを目指すために、といった、今後のジオパーク推進を考えるのにとっても重要なものでした。一部ご紹介します。

①ジオパークとは

ジオパークは「地質公園」、「世界地質遺産」と訳されることが多いが、それは大きな間違いで地形や人間の働きによって生まれた文化や景観、特定の地形・土壌に成り立った生態系や植生なども含んだ幅広いものです。

例えば雲仙の例をとると、雲仙にはすばらしい棚田があるが、地元の人からすると昔からあって当たり前という風にとらえられています。

しかし、ジオパーク的に考えると、雲仙火山という厳しい自然条件の中で人類が工夫して生みだした文化景観であり、とても素晴らしいもので、外部の人が見るとあっと驚かされます。

また、糸魚川世界ジオパークが世界に評価された点は太古の地質であるヒスイから氷河地形や高山植物の群生まで長い自然の歴史を示す多彩なジオサイトがあったことと、それらを二つの自然博物館が中心となって広範な活動を行ったことだという話がありました。



「雲仙の棚田」 これもジオパークの魅力

③,④下仁田ジオパークの魅力とこれからの課題

下仁田の跡倉クリッペ(根なし山)は日本列島が形成する太古の地殻変動を記録しており、日本でも唯一の変動の証拠が残る町です。そして、ひよっとするとヒマラヤやアルプスにあるクリッペとも違うでき方をした世界で唯一のクリッペの可能性があるということだそうです。しかしながら、世界を目指すためには、まずこのクリッペが日本列島の成因の中でどういう位置付になるかという学術的課題と、この魅力を地元の人たちがどのようにPRしていくかという普及面での課題が挙げられました。

そして、さらに今回の講演では、下仁田の周りには蟬の渓谷(南牧村)、しおじの森(上野村)、瀬林の恐竜の足跡化石(神流町)など西上州の素晴らしい自然もジオパーク全体のテーマにしてはどうかという提案や、下仁田ネギを使った持ち帰り可能なお土産やコンニャクを活かしたスイーツなどジオの恵みであるねぎとこんにゃくの商品開発についても提案がなされました。

当日は雨にも関わらず、多くの方々が集まり、熱心に小泉先生の話に耳を傾けました。

～ジオツアー～

案内：小泉 武栄先生

講演会前には、はねこし峡や不通溪谷を中心とした下仁田の珍しい地形をテーマにジオツアーを行いました。

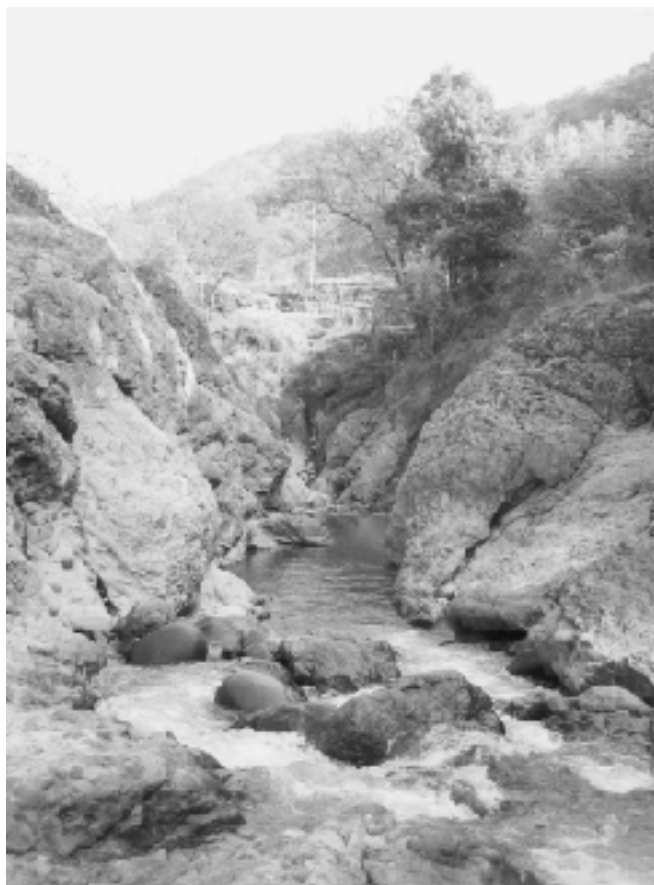
はねこし峡はとても硬くて赤味がかかった岩でできており、それをかぶら川が削り込んで溪谷を作っているのです。とても美しく見えます。軟らかい地層を川がながれるときは川幅が広くなり、硬い岩を流れるときは川幅はひろがらず、どんどんと下に削っていくので、このような溪谷をつくるそうです。

現在、遊歩道整備も済んでいますので、皆さんもぜひ一度ご覧になってください。

行事報告

9月25日(火)『下仁田ジオ・歴史遺産応援団』の第2回目の学習会が行われました。

今回は「ガイドの果たす役割」・「緊急事態への対応(熱中症・ハチ・ヘビ・水難・AED蘇生法)」を消防署職員の方にご指導いただきました。短時間の学習でしたが、今後企画するジオツアー等に向けて大変参考になりました。



自然史館の利用他

- 9月 8日(土) 平原石灰岩体化石探し
- 9月19日(水) みどり市視察
- 9月21・22日(金・土) 妙義山星穴調査

行事予定

下仁田ジオ・歴史遺産応援団 『馬山丘陵観察会』

- 日時：11月10日(土) 午後9時～午後12時30分
- 場所：旧馬山小学校 9:00集合
- 内容：馬山丘陵の生い立ちと人々の生活
- 申し込み先：下仁田町ジオパーク推進室 ☎70-3070
ふるさとセンター ☎82-5345

『妙義現地観察会』

- 日時：11月18日(日) 午前8時半～午後2時
- 場所：中之岳神社前県営第一駐車場集合
- 内容：妙義山の生い立ちと石門形成の謎
- 持ち物：お弁当・長靴・動きやすい服装
- 申し込み先：ジオパーク推進室 ☎70-3070

※下仁田町自然史館では、午前9時から午後4時まで展示室を開放しています。ぜひお出かけください。



▲AED蘇生法講習の様子



▲妙義山 第四石門

問い合わせ先 下仁田町自然史館(ジオパーク推進室) ☎70-3070